



府中市美術館
公開制作78

Open Studio Program 78
in Fuchu Art Museum

児玉 幸子

脈動

— 溶けるリズム

KODAMA Sachiko

Pulsate – Melting Vision and Melting Moment, Rhythm in Motion

2020.4/25 SAT ~ 9/6 SUN

10:00 ~ 17:00 公開制作室 観覧無料

Sachiko Kodama links emerging natural phenomena with plastic art to create mixed media works that reference the relationship between organic form/motion and light/sound.

In the open studio program, the artist will create new light-based artwork that continues this theme. She will also feature the original “magnetic fluid sculptures” she has been producing since 2000. Magnetic fluid sculptures move while being affected by external factors, producing visually dynamic images with subtle changes that may be hard to detect. The factors that bring movement to the work will be revealed during the course of the four-month open studio. The title “Pulsate—Melting Vision and Melting Moment, Rhythm in Motion” reflects the manner in which the forms in the magnetic fluid and kinetic light lose their shape and melt, only to swell and reappear.



〈Morpho Tower〉部分、2006年



〈Meeting〉2019年



〈惑星No.3〉2016年

児玉 幸子

脈動 — 溶けるリズム

KODAMA Sachiko

Pulsate - Melting Vision and Melting Moment, Rhythm in Motion

2020.4/25 SAT ~ 9/6 SUN

制作公開

4/25(土) 5/10(日) 5/31(日) 6/20(土) 6/21(日)
7/5(日) 7/26(日) 8/2(日) 8/10(月・祝)
12:00~17:00 公開制作室 観覧無料



《Morpho Tower - Sprout》2019年



(上)《Morpho Tower》2006年
(下)《脈動する—私の小さな海》2008年

児玉幸子は、創発する自然現象を造形に結びつけることに取り組み、形態と動き、視覚と光をテーマにしたメディアアートの創作活動を続けています。公開制作では、近年取り組んでいる柔らかい色光が変化するライトアートのほか、児玉が長年取り組んできた「磁性流体彫刻」も展示します。「磁性流体彫刻」では作品を動かす要因を、外部からコンピュータを介して取得し、視覚的にダイナミックな、時には気づかないほどの微妙な変化を生成します(作品の動きが何によってもたらされるかは、公開制作のなかで明かされていきます)。タイトル「脈動—溶けるリズム」は、磁性流体の棘や光のイメージが形を失って溶融する瞬間、そして再び膨らみ湧き出る運動を繰り返す作品のヴィジョンを表したものです。驚きと美しさに満ちたメディアアートの世界をお楽しみください。

児玉 幸子 (こだま さちこ)

1970年静岡県生まれ。筑波大学芸術学研究科修了、博士(芸術学)。電気通信大学准教授。2000年より磁性流体のアートプロジェクト「突き出す、流れる」を推進。作品《突き出す、流れる》(SIGGRAPH Art Gallery 入選、2001年)で、第5回文化庁メディア芸術祭インタラクティブ部門大賞、日本のメディア芸術100選に選ばれる。《呼吸するカオス》(ソフィア王妃芸術センター、マドリッド)、《七つの質問》(東京都写真美術館)、《モルフォタワー》(東京都現代美術館)、《二つの立てる渦》(エスパス・ルイ・ヴィトン、パリ)等の作品を発表。2009年、文化庁新進芸術家海外研修制度により米国にて滞在制作。近年の主な個展に、「児玉幸子—磁性流体彫刻とメディアアートのデザイン展」(調布市文化会館たづくり、2016年)、「眩惑について—Éblouissant」(清課堂/京都、2017年)、「眩惑について—On Dazzling」(東京パブリッシングハウス、2019年)。東京・調布市在住。



作品展示

8/12(水)以降は、完成作品をご覧になれる予定です。
土・日曜日 13:00~17:00は、当館普及員によるガイドあり。

ワークショップ

「センサーを使って身体の動きで変化する映像を制作する」

8/20(木) 8/21(金) ※両日とも同内容

10:30~16:30 講座室 / 小学5年生以上各10人(抽せん) / 無料

申込方法：8/7(金)まで(当日消印有効)に、往復はがき(1人1枚)に、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望日、返信用あて名を記入して、当館「センサー」係へ / 電子メール可

Email : bijiyutu02@city.fuchu.tokyo.jp



©Takekawa, Fugaato, Kodama Lab, UEC

アーティストトーク

「脈動—溶けるリズム」

8/30(日)

14:00~ 講座室 / 無料・予約不要

出演：児玉幸子、ゲスト予定

同時開催

3/14~5/10 企画展「ふつうの系譜 京の絵画と敦賀コレクション」

常設展「江戸時代から現代まで」

5/23~7/5 企画展「ここは武蔵野 描かれた『むさしの』、400年を迎える旅」

常設展「江戸時代から現代まで」

7/18~9/6 企画展「夏の所蔵品展 ひらいてみよう 美術の扉」

常設展「はなが遊園地/牛島憲之と昭和の絵画」



交通案内

- 京王線東府中駅北口から
 - ・徒歩17分
 - ・ちゅうバス府中駅行きで「府中市美術館」①下車(8:05から毎時30分間隔・100円)
- 京王線府中駅からバス
 - ・ちゅうバス多磨町行きで「府中市美術館」①下車(8:00から毎時30分間隔・100円)
 - ・武蔵小金井駅行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ
 - ・武蔵小金井駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
 - ・府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ
 - ・府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)をご利用ください。

[休館日]月曜日(5/4、8/10をのぞく)、5/11(月)~22(金)、7/6(月)~17(金)、8/11(火)

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3 ハローダイヤル 050-5541-8600 <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

府中市美術館

Fuchu Art Museum